

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		利用定員に対して十分な広さを確保しているが、言語訓練に特化した環境を整えるため、新たにR6.3中にST室を配置することを調整中である。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		国の人員配置基準はクリアしている。また機能訓練のニーズに対応できるよう、理学療法士や言語聴覚士等を常時配置し、より充実した療育を提供できるようにしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		建物の構造上、完全にバリアフリー化は難しいが、手すり等を設置したり、移動する際に段差がある場合には、声かけや介助等を行い、安全に配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		提供する療育活動に合わせて環境設定を行っている。また放課後等デイサービスと利用時間が重なった場合でも、しっかりと活動プログラムを提供できるよう部屋を分ける等、工夫している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		朝礼や昼礼等に、職員間で共有する時間を持ち、個別支援計画による療育支援を進めていくための支援会議を開き協議している。また、療育終了時には支援の振り返りを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者からの希望にできる限り対応できるよう、職員間で協議し、改善できる部分については対応している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		児童発達支援に関しては、令和5年11月からスタートしており、今年度、ホームページにて初めて公開する。(放課後等デイサービスに関してはホームページで公開している。)
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	福祉サービス第三者評価による評価は受けていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		支援ミーティング等で、児童を支援していくうえでの課題点や検討事項等の確認、OJTの実施や雇用形態を問わず全職員に対して社内外研修に参加する機会を設けるなど、職員が自己研鑽しやすい環境を整えている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		利用時の見学等も含めて、保護者と話し合う機会を設けたり、日々の行動観察を記録し、職員間で検討しながら作成するようにしている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントツールを使用している。いろいろな文献等を参考にしたり、機能訓練担当職員による専門的なアセスメントをするように心がけている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインに基づいて、保護者からのニーズ等をお聞きしたうえで、当事業所として提供できる支援内容やご本人に必要なと思われる支援等について、保護者等と相談を行い、計画を立てている。また必要に応じて関係機関等とも情報共有しながら支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		計画書に基づいて支援を行っている。また定期的なモニタリングを通して支援内容の確認を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		活動内容や支援方法などについて、児童指導員、理学療法士、言語聴覚士等多職種の視点から検討し、プログラムを考えている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		ご本人の様子や成長等を確認しながら、多職種の視点でいろいろな活動を提供している。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		R6.2月現在、利用児童が各曜日(火・木)1名ずつの利用で、かつ保護者等のニーズにより、個別活動での提供となっている。今後、利用人数が増え、当事業所の環境に慣れる等、児童の状況に応じて、個別活動の時間、集団活動の時間をそれぞれ設定し、本人のペースに合わせて無理のない範囲で行っていかないと考えている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼等に活動予定表を職員間で確認し、支援の内容等について周知及び確認を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		昼礼時や翌朝のミーティング等で振り返り等を行い次回の療育に繋げている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		児童の様子など気がかりな点等について、記録システムに入力したり、朝礼等にて確認したりしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリングを行い、必要があれば計画を変更している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		会議内容に合わせて、児発管や管理者、担当職員を出席させている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		担当者会議にて情報共有を行い、関係者間での情報共有を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		現在、医療的ケア等が必要な子どもの利用はないが、利用がある場合には、各関係機関と連携しながら支援を行っていく必要があると考えている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		現在、該当する児童はいないが、受け入れる場合には、保護者等と相談しながら医療機関との連絡体制を整えることについて検討していきたいと考えている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者や相談支援事業所等へ確認し、必要に応じて情報共有を行っていきたくと考えている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		現在、該当する児童はいないが、移行する場合には、相談支援事業所や保護者等と相談しながら提供していきたいと考えている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童の状況に応じて、その都度、見学へ出向いたり、専門機関から助言等をいただきながら支援している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	現在、個別療育を実施しており、そのような機会は持っていない。療育時間が限られていること等により交流する機会を設けることはできていないが、今後は、交流する機会を設けられるよう検討していきたいと考えている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		療育支援部会など関連する協議会に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		利用時に保護者に対して自宅出来るリハビリ方法などを書面や口頭で、情報共有を行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	今後、ペアトレの研修を受講し相談があった際には対応していきたい。 現在、保護者向けのプログラムは実施していないが、保護者から相談があった場合には、その都度、対応方法などについて話し合う機会を設けている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を実施したり、不明な点については随時、説明するようにしている。また支援内容については保護者と話す機会やシステム等で連絡している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		児童発達支援ガイドラインに基づいて、児童発達支援計画の作成を行い保護者へ説明、同意を行っている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		電話や利用時等、保護者から相談のあった場合には、その都度対応したり、必要に応じて相談日を設けるなどしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在、保護者会等は設置していないが、今後、保護者同士の交流できる機会を提供できるよう検討していきたいと考えている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者からの相談、申入れがあった際には、その都度対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ぶらすupだよりを作成・配布したり、システム(HUG)を通してその都度、情報を発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報が記載された書類等については、鍵付きのキャビネットに保管するなど、取り扱いには十分注意している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		児童や保護者に合わせて、イラスト等を使って、わかりやすく説明するよう工夫したり、理解してもらえたかなど確認しながら意思の疎通を図っている。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	児童発達支援に関しては、令和5年11月からスタートしており、児童発達支援としての行事を開催する機会を持っていない。放課後等デイサービスでは地域の方に協力をいただきながら行事等を行っているので、児童発達支援でも実施できるよう検討していきたい。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルについては、施設内に設置しており、いつでも閲覧できるようになっている。職員には研修時に周知している。保護者にはシステム等を利用し、周知していくことを検討している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		放課後等デイサービスでは、非常災害の発生に備え、市の出前講座などを利用し、月1回、避難訓練等を実施している。児童発達支援でも実施できるよう検討していきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		現在、該当する児童はいないが、受け入れる場合には、保護者へ確認を行っていききたいと考えている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		現在、該当する児童はいないが、受け入れる場合には、医師の指示書に基づき、保護者等と相談しながら整えていききたいと考えている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待に対する正しい知識を得て、児童と関わりをもてるよう、虐待防止に関する研修への参加や話し合う機会を設けている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		現在、対象の児童はいないが、身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識としている。また、保護者等へは契約書等に記載し説明したうえで、同意を得るようにしている。